

H29年4月

「沖縄最高峰於茂登岳」

H29年4月9日(日)～4月12日(水)

この旅は、昨年の道岳連交流登山で私が発した一言から始まった「6月に石垣島にカミさんと行き、沖縄最高峰於茂登岳の登山口を見つけた」話をすると、数人の女性「行きたい、いく～ いく～」男は皆、その言葉に非情に弱いのです「それじゃ責任とります！」年が変わり4月、男8人、女13人、私は最初12～13名と思っていたのが、募集すると「びっくり」

9日 新千歳 8時出発ー羽田ー那覇ー石垣島少し遅れ16時30分到着 レンタカー6台借り「タウンプラザかねひで」で飲み物食糧調達、17時45分ホテルチェックイン、18時ユーグレナモール散策、

10日 7:40於茂登岳目指して出発、最終登山口の手前約200m道が悪く、先行のレンタカー「ゴツン、ガサッ、ガガ、ゴーン」続いて5台「ゴツン、ガサッ、ガガ、ゴーン」自分の車なら「いやーかない」



登山口で体操後使用前の写真撮影、全員未知の世界と期待と不安で緊張ぎみ 「オーバー？」
見たことの無い樹木、みみず・・・ 滝はどこも同じ、頂上は曇っていて、時々雲の間から下界が見え隠れ、風は少々あるが寒くない、この日最高気温29℃
標高差362m 上り2H30' 下り1H30'
皆、満足の笑顔 「沖縄最高峰極めたり」
帰り道も6台共「ゴーン、ガガ、ガサッ、ゴツン」

下山後、次の山、野底マーペー登山口を探そうとする
が道迷い、あわや遭難、私の言い訳(カーナビが言う事聞かない、上り20分に油断し調査不足、申し訳ない)

北に行くほど天気良くなり、平久保崎、戻って川平湾グラスボート観光、マリブルとアイスクリームを満喫した。



ホテルに早めに着き、グレードアップした部屋で気分は上々「よかったね！」
大浴場で汗を流し、全員ホテル部屋着姿で「パチリ」
「なんとも凄い絵柄！」



2日目終わったが、面白い話題が少ない、小耳に挟んだ話、FTさん食堂のおばさんに変身し厨





1 1日今日は観光だ、竹富島に渡り水牛車「琉太」に曳かれてのんびり、石垣島に戻り、みね屋工房でみんな織り買い、隣のダイニングみふねで昼食食べ、やいま村でリス猿見、氷ぜんざい食べ、石垣島鍾乳洞見、マンゴージュース呑み、ホテルに着、ハードな1日は、まだ続く、



1 2日アンバルカヤックやるき満々の装いでホテルを出るだが小雨が止まない、風もあり、少し寒い、そんな訳で中止となり、標高230mのバナナ岳展望台に行き石垣島の景観を楽しむ、下の公園Pですばやい着替え「皆さんあらわな格好にも自信あり」



房に出入りしたとか？

Sさん、明日午後友人と会う、よからぬ疑い「女性？男性？」「小学校の同級生」「クラス会で石垣島に来たらよって」話題を変えようとするが、20名の答えは「絶対お・ん・な」真実は、本人のみ知るところなり。

登山中の女性の会話「花がきれい、私と同じ清楚よ」「いや貧乏だ」・・・・・・「花に失礼だよ」



街まで歩き、夕食大宴会「うさぎや本店」1時間のライブショー、沖縄料理と三線演奏を楽しみ、「オーゾー自慢のオリオンビール」で盛り上がり、最後は全員で「カチャーシー」で熱狂の渦に！！



帰りも「タウンプラザかねひで」で「泡盛だ、豆腐よう」「海ぶどう」「かまぼこ」と爆買い状態となり、空港まで爆買いは続く。

最後は、この人KJさんが閉めてくれました、飛行機の席、前の便と同じ席に座る「笑い全開」

楽しく4日間が終わり、スーパーストア好きの添乗員短縮すると「スーパー添乗員」の役目も終了、沖縄本島にも登れる山があるよ、2年後には「沖縄本島最高峰に登ろう」を企画したいと思います。

「参加者の皆さん色々ご協力ありがとうございました」

記録 1730です